

交通事故ゼロを目指して

◎秋の全国交通安全運動車両パレード出発式

表彰を受ける松崎氏



9月21日、近永公民館前で「秋の全国交通安全運動車両パレード出発式」が行われ、宇和島警察署や鬼北交番の署員、鬼北交通安全協会の会員などが参加しました。

式典の前には、長年安全運転に努められてきた功績を称える、交通安全賞章「緑十字銅章」を受章した松崎勇さん、沢松への表彰状伝達式が行われ、鬼北交通安全協会の井上六廣会長より授与されました。

出発式終了後には、交通安全の旗を掲げた車両約15台が、町内をパレード。会員たちは、町内全域に交通安全の大切さをアピールしました。

わがふるさとを学び、良さを再確認

◎第2回「ふるさと愛媛学」ふるさと再発見講座

田坂氏の話を熱心に聞く参加者たち



「第2回「ふるさと愛媛学」ふるさと再発見講座」は9月17日、鬼北町役場日吉支所の2階小ホールで開催されました。

2回目となる今回は、「記憶された『ふるさとの姿』—その移り変わりをつながり—と題した講義を実施。講師の愛媛県教育委員会の田坂泰之氏は、「ふるさと愛媛学」のねらいや、ふるさとを見つめ直すことの大切さなどを、参加者たちに伝えていました。

田坂氏は、「ふるさとの良さを再確認し、大切にするとともに、地域の若者や子どもたちにその良さを継承してほしい」と、話していました。

化石の奥深さに、興味津々

◎第1回 きほく鬼ッズふるさと探検2016

化石に夢中の子どもたち



「第1回きほく鬼ッズふるさと探検2016」は10月1日、高知県佐川地質館で行われました。

この日は、町内の小学生30人が参加。まず、地質館の溝淵富弘先生の案内で、アンモナイトやナウマン象の牙などの多種多様な化石に触れながら、館内ツアーを行いました。

その後、2枚貝の化石が多く見つかる露頭を訪れ、実際に化石発掘に挑戦しました。化石が埋まっているような場所を見つければ、ハンマーを使い無我夢中で軟岩を砕く児童たち。自分の手で化石を発掘した児童たちは、満面の笑みを浮かべていました。

闘志を燃やした5カ月間、ついに終結

◎鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式

総合優勝した「武田自販」の選手



「第12回鬼北町ナイターソフトボール大会閉幕式」は9月29日、鬼北総合公園グラウンドで開催されました。

式では、優勝・準優勝チームへの表彰の他、「効率が良かった賞」などの特別表彰も行われ、各分野で活躍したチームの功績を称えました。

約5カ月間にわたって、第1節と第2節に分かれて行われた本大会。町内から20チームが参加し、数々の熱戦を繰り広げた結果、今年は「武田自販」が総合優勝を、そして「滝平工務店」が準優勝の座を勝ち取りました。

また、「本町苦楽部」の加形嘉朗選手が本塁打王に輝きました。